

行灯アサガオ品種のプランター長尺仕立て栽培の試作

吉岡孝行  
(江戸川分場)

---

【要約】アサガオプランター長尺仕立て栽培における定植株数の違いは、プランターあたり開花数の差はない。2株植えは、蔓（主茎）誘引と摘葉の作業で、3株植えより手間を省ける。「暁の海」は、大輪の青色種、葉・蔓の色合いが良くて、観賞性に優れる。

---

【目的】

2020年東京オリパラ会場では、長尺仕立てによる装飾花の使用が想定される。そこで、管内で生産される行灯アサガオ品種を用いたプランター長尺仕立て栽培を試み、生育と開花特性を検討する。

【方法】

「暁の海」, 「平安の春」を供試し, 2018年4月11日, 市販培養土を充填した128穴セルトレイへ播種した。4月19日, 9cm黒ポリポットへ鉢上げ, 5月18日, 両品種を株元3節残して蔓（主茎）をピンチした。6月18日, プランター当たり2株および3株となる調査区（2株区, 3株区と略）を設けて定植した。用土は, 江戸川分場標準用土（赤土：腐葉土：無調整ピートモス＝3：1：1）を使用した。基肥として化成肥料（マグアンプK中粒）5kg/m<sup>3</sup>, 過リン酸石灰3kg/m<sup>3</sup>を施用した。灌水を兼ねて液肥（20-20-20）2,000倍液を3回施用した。アサガオは, プランター左右に園芸用支柱4本を固定してフックを取り付けた金具（上下に2本ずつセット）で囲い, これに主茎（蔓）をビニール紐（径1mm）使って誘引した（図1）。分枝等の管理は放任とし, 蔓が先端に達した時点で蔓下げおよび摘葉を行った。品種ごとの生育と開花数を調査した。

【成果の概要】

1. アサガオは, 6月28日に南方からの強風を受けたが, 蔓は誘引紐に強く絡み, その後も連続して開花した（図2）。その後, 台風12号（7/28～29）による花や葉の損傷もあったが, アサガオの長尺仕立て栽培を継続することができた。
2. 両品種の2株区および3株区の第1回目の蔓下げ作業は, 7月20日に実施した。定植株数による違いは, 両品種とも3株区の蔓数大きく, 分枝数少ない傾向となった。「平安の春」は, 蔓長で2株区が3株区を有意に優ったが, 蔓径はほとんど差がなかった（表1）。蔓誘引は, 3株区が2株区より作業効率が悪く, 支柱に絡んだ分枝の誘引に手間取った（データ略）。
3. 開花は, 両品種とも定植株数の違いが, 株当たりの開花数に顕著な差となって現れた（図3）, プランター当たりの開花数ではほぼ同じものとなった（図4）。
4. 「暁の海」は, 大輪の青色種（明度L\*23.4, 色度a\*30.4, b\*42.1）で, 浅茶色の蔓（主茎）, 黄緑色の葉には美しさが感じられ, 大輪の花は観賞性に優れた（データ略）。

【残された課題・成果の活用・留意点】

平成31年度, 供試品種, 誘引仕立てなどを変えたプランター長尺仕立て栽培を試みる。

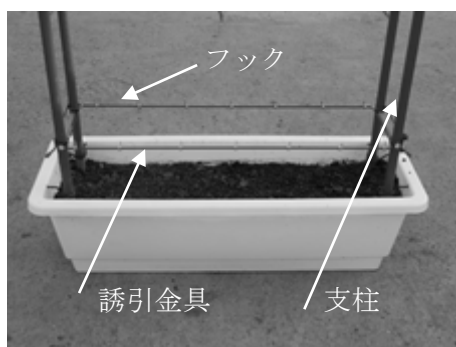


図1 供試したプランター

プランターは、幅 54cm 縦 22.5cm  
高さ 18cm の大きさ (14L 用)  
誘引金具は、長さ 51cm。誘引紐を  
フック 6ヶ(金具) で留められる。  
支柱は、高さ 180cm (径 16.5mm)

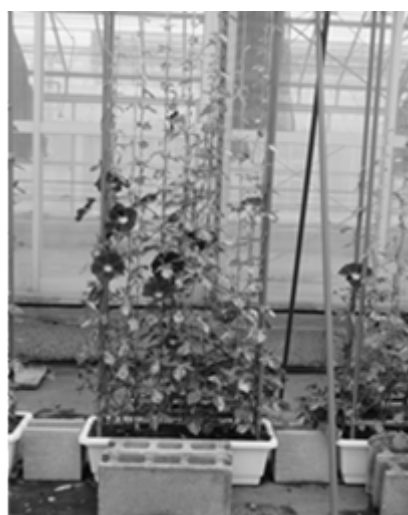


図2 「暁の海」の生育  
プランター 2株定植区  
撮影日 2018年7月13日

表1 行灯アサガオ品種のプランター栽培における株数の違いが生育に及ぼす影響

品種名	試験区	蔓数 (本)	側枝数 (本)	蔓長 (cm)	茎径 <sup>a</sup> (mm)
暁の海	2本区	29.0	25.0	329.8	3.4
	3本区	38.0	22.3	325.5	3.5
t 検定 <sup>b</sup>		n. s.	n. s.	n. s.	n. s.
平安の春	2本区	25.0	25.0	315.7	3.9
	3本区	32.0	13.7	239.6	3.7
t 検定		n. s.	n. s.	**	n. s.

a) 株元より主茎約 3 ~ 5 cm の茎径

b) \*\*が 5% 水準で有意差があり, n. s. は有意差がないことを示す。

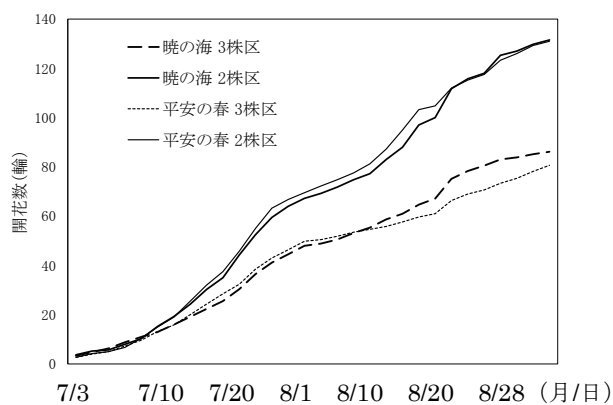


図3 プランターへの定植本数の  
違いと 1株あたり開花数

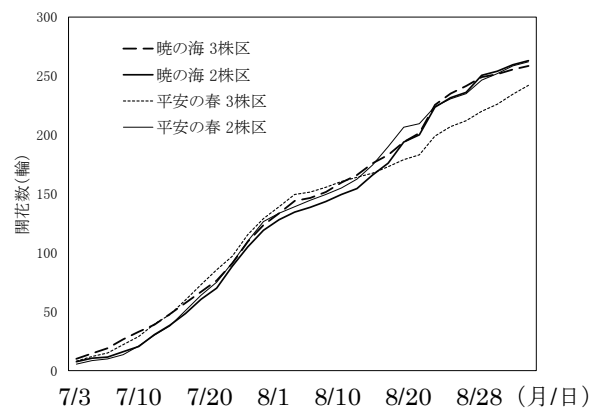


図4 プランターへの定植本数の  
違いとプランターあたり開花数